

町田市議会議員・ネット発信NO.1

# 吉田つとむ

YouTube動画 860万回再生を突破



## 障がい者福祉事業の利用者の工賃の低さ

健康福祉常任委員会の決算認定を通じて、障がい者福祉事業の利用者の賃金の低さを指摘し、付帯意見の項目に入れ、委員会で可決事項の中に、以下の2点が入りました。(市内のB型事業所でほぼ同様と推測しています)

◎障がい者福祉費の大賀ぐうし館事業に関してして、月1万円にも満たない、利用者の工賃の引き上げが図られるように事業の改善を図りたい。

◎授産センター事業の美術工芸館に関して、月7000円程だという利用者の工賃の引き上げが図られるように事業の改善を図りたい。

驚くべきところですが、ここで「工賃」とされるものは、日額ではなく、あくまで月額です。その利用者は、送迎費用や食事代は本人負担とされており、施設に出向いて作業をすれば、実質、手出しする負担額の方が受け取る工賃よりも多くなる実態があります。利用者の人の工賃を上げるべきものですが、現状はそう簡単には行かないことは百も承知で、その改善を提起したものです。「障がい者だから、その工賃の対価は安くて良い」という発想自体の転換を図るよう訴えたものです。



## 自動運転車両の走行実験乗車

町市内(町田木曾住宅一木曾団地)で行われた、自動運転車両の走行実験に際して、乗車しました。団地の居住者を対象にした地域の補助的な交通手段として想定(移動支援実証実験)されるものでした。今回の実験で定められた中で最長のコースでしたが、団地の建物や周囲を走り、全部で20分を要しました。団地居住者の移動や買い物などの荷物をスムーズにするための交通手段であり、必要な時に、電話などでオンデマンド走行を見込んだものです。東京都住宅供給公社(JKK東京)が、日本モビリティ、群馬大学などと計画したものであり、ヤマト運輸、神奈中タクシーも参加しています。



定められたコースを車載カメラとGPSを利用して無人運転を計画するものですが、今回は神奈中タクシーの乗務員さんが、自動と手動を随時切り替えながら走行するものです。未来志向の乗り物ですが、果たして、その運賃はいくらぐらいになるのか、私はこうした乗り物はワンコイン(100円)が利用者視点の相場と理解しますが、開発コストははるかにそれを上回るでしょう。

レーザー装置とカメラを天井部分に積載する

◎町田市議会は定数36名。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が4名です。吉田つとむは、「無所属」という3名の会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の3名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

<編集発行>  
〒194-0011 町田市  
成瀬が丘1-14-12  
サンホワイトE103-13  
自宅042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## 中核市の災害対応連携と町田市

町田市は令和4年4月から中核市の市長会のオブザーバーになっていますが、まだ、それに参加するという意思表示はしていません。その中核市というのは、政令指定都市と一般市(人口20万未満クラスの都市)であって、地域の中心的な都市を構成している体制になっていることを、市議会の一般質問で紹介しました。

その中核市の連携で、私たちがこれまで知らなかった点で、災害時の連携がありました。全国の中核市を地域別にブロック化し、その中で、ピックアップされた構成になっています。町田市の他の自治体への災害出動は、一般には東京都の指示待ちでスタートしていますが、中核市では災害時の応援チームというものが全国で6編成されており、八王子市を含む応援チーム②の構成市は、いわき市、高崎市、柏市となっています。こうした遠距離で、かつ、相応の規模の都市が、他の自治体における災害に際して、被害に遭っていない都市の災害応援部隊を構成する体制になっています。



◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

◎支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

◎吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

## 電話加入権は担保価値無し

健康福祉常任委員会では、決算審査がメインとなりました。質疑を通じて、課題や改善点を各委員が提起し、その項目ごとに採決をして、可決したものを本会議で委員長が報告し、正式な市議会の付帯意見となります。



市民病院分では、令和3年度町田市病院事業貸借対称表に、(2)無形固定資産 イ電話加入権 2,894,200 無形固定資産合計 2,894,200 とあり、固定資産明細書に同じ内容が記載されていました。

現在、一般には「電話加入権」と言っても通用しないと思います。旧電電公社(NTT)の電話回線(昔は全部が固定電話)を引く際に、7万円程が必要で、その権利は質権にも適用されていきました。現在では、携帯電話が一般化し、価値が無くなっているのではないかと思います。当局に質疑をしたものです。結果は「担保価値無し」と説明がありました。そこで、付帯意見として、<無形固定資産の電話加入権については、「担保価値無し」との説明であり、記載の見直しを図りたい>と提案し、可決しました。果たして、行政からはどのような対応が出てくるのでしょうか。

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、第51期生を募集予定

## インターン体験記⑤近藤 咲月

町田市議会定例会の一般質問に対するヒアリングを各部署の方が、議員と行うところを拝聴させて頂きました。

ヒアリングが始まる前には実際に議会が行われる会場(本会議場)を見学させて頂き、テレビなどでは観たことはあっても実際の会場というものは緊張感漂うものであると感じました。また議長や市長の方が座る椅子を見て、実際に大勢の人が会場に入るとなるとさらに緊張感は増すものだと思います。ヒアリングの時間では吉田勉先生が議会で行う3つの質問に対して各部署の方が5~6人程、吉田議員のもとを訪れて話し合いを行うというものでした。



昭和女子大生2年生 近藤 咲月(第50期生)

吉田議員の質問は「町田市は中核市を目指すのか」「保育施設の近況と展望について」「日大三高野球部の小倉監督の偉業について」の主に3つに分かれており、多岐にわたる分野に対して該当する部署の方と対話される様子を見て、市の役員が一つになって「町田市」の実態と将来について考え話し合いを進めていくものだと見受けられました。このような対話を直接その場でお聞きすることができとても貴重な機会となりました。

## インターン体験記⑤下津陽菜乃

今回は吉田つとむ議員の元インターンシップ生で、私が現在通っている大学のOGでもある石井さんとお会いし、そのお仕事の内容や就職活動についてのお聞きしました。

お話の中で特に印象に残ったことは就職活動の軸についてです。大学で受けた就活についての講座の中でも就活の軸の大切さについては言われていたのですが、自分の中で就活の軸を決めていたのですが、石井さんの就職活動の経験聞いて自分の就職活動の軸について見直すことができました。就職活動の軸がしっかりとしていないと企業選びにも影響しますし面接でも聞かれる可能性があるため、石井さんのお話を聞いてもう少し考える必要があると感じました。また、石井さんは私の大学のOGでもあるので大学で受けることができる就職サポートについても聞くことができました。これからぜひ活用していきたいと思いました。

今回石井さんと直接会ってお話をさせていただいたり、アドバイスをいただくことができ、これからの就職活動に役立つことをたくさん知ることができました。これから本格的に就職活動について考えていかなければいけないので、今日学ばせていただいたことを活用して頑張りたいと思います。



昭和女子大生3年生 下津陽菜乃(第50期生)

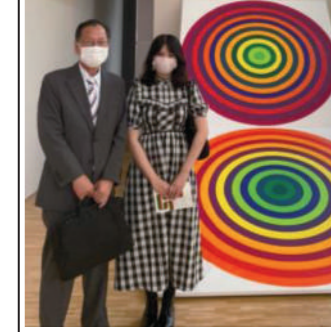
◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年9月末までに103名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期のインターンシップは第51期生となりますが、これから募集する段階です。

インターンシップで若者育成の貢献  
町田市議・完全無所属・良識ある保守

# 吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

## インターン体験記③小林 怜奈

今回、私は町田市議会健康福祉常任委員会を傍聴させて頂きました。その委員会では、厚生労働省告示の改正に伴う町田市民病院の使用料改定や決算認定、令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第3号)や令和3年度(2021年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定の保健所と地域福祉部が所轄する部分、行政報告が行われました。

本会議場の議員席に着席し、撮影しました



委員(議員)からの決算質疑は金額、数値に対する質問が多くあり、私はその中でも特に気になった議題について取り上げようと思います。それは、いくつもの福祉施設の就労で障害者の方が月一円で働いている事です。市の担当者曰く、送迎費や昼食代は本人負担とされるとのことで、私はその給料だけで本当に障害者自身の権利が尊重される、自立した生活を送る事が出来るのだろうか疑問に思いました。何としてでもこの障害者の労働を取り巻く状況が好転することを期待します。

茨城大学1年生 小林 怜奈(第50期生)

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が好評です。

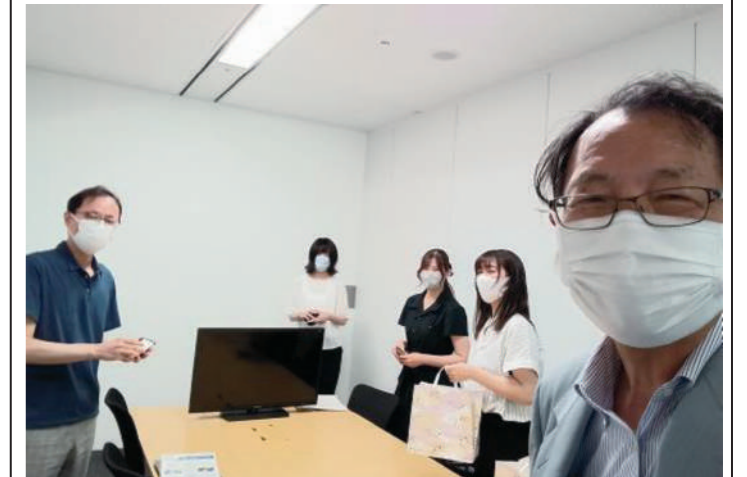
◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

## インターン体験記⑩松村英美里

IT企業訪問、市ノ澤社長インタビュー

株式会社VOTE FOR(東京都港区)に伺い、事業内容やこれからの取り組みについてお話しいただいた。現在、公職選挙におけるインターネット投票の実現に向けて、2024年度につくば市長・市議会選挙で技術検証を予定しているそうだ。2022年3月4日に「第3回スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定に関する専門調査会」が開催され、つくば市は「つくばスーパーサイエンスシティ構想」に内定し、最先端の取り組みの実証実験に協力することが発表された。

インターネット投票もスーパーシティ構想のひとつである。この事業では、web3の概念が登場し、最近、頻りに聞くブロックチェーン技術や個人認証検証などの技術を活用して、信頼度の高いインターネット投票の実現が目指されている。インターネット投票が実現された暁には、海外居住者の選挙平等や移動の難しい層の選挙への参加が見込まれる。これからの選挙の形がどう変化していくのか、大変興味深く思った。



筑波大学2年生 松村英美里(第45期生)